

作成日 2016年03月18日

改訂日 -

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名： オルガフィックス DN - 1

会社名： オルガノ株式会社

住所： 東京都江東区新砂 1-2-8

担当部門： 機能商品事業部

電話番号： 03-5635-5214

FAX 番号： 03-3699-7244

推奨用途及び使用上の制限： 非イオン性界面活性剤除去剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	-
	可燃性又は引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	-
	エアゾール	-
	支燃性又は酸化性ガス	-
	高压ガス	-
	引火性液体	-
	可燃性固体	-
	自己反応性化学品	-
	自然発火性液体	-
	自然発火性固体	-
	自己発熱性化学品	-
	水反応可燃性化学品	-
	酸化性液体	-
	酸化性固体	-
	有機過酸化物	-
	金属腐食性化学品	区分1
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	-
	急性毒性(経皮)	-
	急性毒性(吸入:ガス)	-
	急性毒性(吸入:蒸気)	-
	急性毒性(吸入:粉じん)	-
	急性毒性(吸入:ミスト)	-
	皮膚腐食性及び刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷 又は眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	-
	皮膚感作性	-
	生殖細胞変異原性	-
	発がん性	-
	生殖毒性	-
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	-
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	-
	吸引性呼吸器有害性	-

環境に対する有害性： 水生環境有害性（急性） -
 水生環境有害性（長期間） -
 オゾン層への有害性 -

*上記の「-」は分類対象外又は分類できないことを示す。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 ・金属腐食のおそれ

注意書き：【安全対策】 ・使用前に安全データシート(SDS)を入手し、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。
 ・ミストを吸入しないこと。
 ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 ・アルミニウム、スズ、亜鉛等の金属と接触させないこと。
 ・酸と混合しないこと。
 ・他の容器に移し替えないこと。
 ・取扱い後は、皮膚を流水/シャワーでよく洗うこと。

【応急措置】 ・吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の診断を受けること。
 ・飲み込んだ場合：直ちに口からすすぎ水などを飲ませ、医師の診断を受けること。無理に吐かせないこと。
 ・眼に入った場合：直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断を受けること。
 ・皮膚や衣服に付着した場合：直ちに汚染された衣服をすべて脱ぎ、皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激を生じた場合、医師の診断を受けること。
 ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 ・物的被害を防止するため流出物を回収すること。

・保護具を着用すること。
 ・ばく露又はばく露の懸念がある場合、異常がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

【保管】 ・容器を密閉して、日光から遮断し涼しい場所、換気の良い場所で、施錠して保管すること。
 ・保管時の温度は5 以下、40 以上としないようにすること。
 ・耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

【廃棄】 ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【その他】 ・目的用途以外に使用しないでください。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物
 化学名又は一般名 等 : 次の通り

成分名(別名)	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
フェノール樹脂	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
水酸化ナトリウム	0.2 未満	NaOH	1-410	公表	1310-73-2
水	残分	H ₂ O	-	-	7732-18-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服をすべて脱ぎ、皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激を生じた場合、医師の診断を受けること。
- 目に入った場合 : 直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗眼の際、まぶたをよく指で開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗うこと。医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぎ水などを飲ませ、医師の診断を受けること。無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、強化液、泡消火剤、粉末消火剤、ハロゲン化消火剤等。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : この製品自体に可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。
- 特有の消火方法 : 火災発生場所周辺は関係者以外の立ち入りを禁止する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能の場合には容器および周囲に散水して冷却する。火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業は風上から行い、場合によって呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出場所周辺は関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具を着用し、飛沫等の皮膚付着やガス吸入を防止する。8. 暴露防止及び保護措置を参照のこと。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が直接河川等環境中に排出されないように注意する。
- 除去方法 : 少量の場合はオガクズ、ウェス等に吸収させて、大量の場合は盛り土で囲うなどして流出を防止してバキューム等で汲み上げ、密封できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 技術的対策 : 取扱は換気のよい場所で行なう。目、皮膚への接触を防止するため、適切な保護具を着用する。8. 暴露防止及び保護措置を参照のこと。
 - 局所排気・全体換気 : スプレーミストやペーパーの発生する作業の場合は局所排気設備を設置し、指定可燃物として取り扱う。屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置使用が望ましい。
 - 注意事項 : みだりにミストやペーパーを発生させないこと。
 - 安全取扱い注意事項 : 取扱い後は皮膚を流水/シャワーで良く洗うこと。
- 保管
 - 技術的対策 : 凍結、直射日光を避け、屋内で保管すること。
 - 適切な保管条件 : 保管時の温度は5 以下あるいは40 以上とならないようにする。皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。
 - 安全な容器包装材料 : 他の容器に移し替えないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : スプレーミストやベーパーが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
作業場近くに安全シャワー、手洗・洗眼設備を設け、位置を明示する。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 本製品としての情報なし。以下に含有成分の情報を示す。
日本産業衛生学会
(2002年度版) : 2mg/m³ (NaOHとして) (上限値)
ACGIH
(2002年度版) : 2mg/m³ (NaOHとして) (TLV-TWA 上限値)
- 保護具 : 呼吸器用の保護具 : 着用が好ましい
手の保護具 : 不浸透性の保護手袋(ゴム手袋等)
目の保護具 : 保護ゴーグル
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣。不浸透性のゴム長靴

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 赤褐色透明液体
- 臭い : ほとんどなし
- pH : 11.5 (25)
- 融点 : 約0
- 沸点 : 約100
- 引火点 : なし
- 自然発火温度 : 自然発火性なし
- 燃焼または爆発範囲 : 自己反応性、爆発性、粉塵爆発性なし
- 比重 : 1.1 (25)

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の状態安定。
- 危険有害反応可能性 : リン化合物と反応し、有毒、可燃性のガスを発生する。
アルミニウム、錫、亜鉛等の金属を腐食し、可燃性ガス(水素)を発生する。酸と反応して発熱する。
- 避けるべき条件 : 日光、熱。
- 混触危険物質 : アルミニウム、錫、亜鉛などの金属、ゴム、合成樹脂類、酸。
- 危険有害な分解生成物 : なし

11. 有害性情報

- 急性毒性 : 本製品としての情報なし。以下に含有成分の情報を示す。
(水酸化ナトリウムとして)
LD50 : 500mg/Kg (経口、マウス)
LD50 : 40mg/Kg (腹腔、マウス)
- 皮膚腐食性/刺激性 : 皮膚に付着したままにすると、炎症をおこす場合がある。
蒸気を吸引すると、頭痛をおこす場合がある。

12. 環境影響情報

本製品としての情報なし。以下に含有成分の情報を示す。
(水酸化ナトリウムとして)

- | | | | | |
|------|--------|---------------------|--------|--------|
| 生態毒性 | : 魚毒性: | Gambusia | TLm96h | 125ppm |
| | | Blue gills | TLm48h | 42ppm |
| | | Gambusia affinis | TLm24h | 125ppm |
| | | Lepomis macrochirus | TLm96h | 9.9ppm |

- 他の有害影響 : 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。
洗浄水等の廃水は、水質汚濁防止法ならびに都道府県条例等に従って排出する。

14. 輸送上の注意

国際規制	:	以下の通り
国連分類	:	8 (腐食性物質)
国連番号	:	UN 1719
品名 (国連輸送名)	:	苛性アルカリ類 (液体)
容器等級	:	
国内規制	:	
輸送の特定の安全対策 及び条件	:	運搬に際しては容器に漏れが無い事を確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。 酸性、有機薬品との混載をしないこと。
緊急時応急措置 指針番号	:	154

15. 適用法令

消防法	:	非該当
毒劇法	:	非該当
P R T R法	:	第1種指定化学物質：非該当 第2種指定化学物質：非該当
労働安全衛生法	:	表示物質：非該当 通知物質：非該当
廃掃法	:	産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止)
海洋汚染防止法	:	該当

16. その他の情報

- ・本データシートは、製品の安全な取扱いのための情報として、現時点で入手できる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。
- ・本データシートは、新たな知見に基づき改訂されることがあります。
- ・本データシートは、本製品用途における通常取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合は用途・用法に則した安全対策を実施してください。
- ・本データシートは日本国内向けに作成したものです。
日本以外で使用する場合は、その国での法律・規制等を確認してください。